

こうなん市議会だより

NO.60

令和3年9月1日発行

6月定例会

- ◎議案質疑 ……………P2
- ◎一般質問 ……………P5
- ◎審議した議案 ……………P16
- ◎各委員会の開催状況 ……P16
- ◎特集記事 ……………P18

発行●高知県香南市議会

発行人●高知県香南市議会議長

山師の高橋さん

令和3年 香南市議会6月定例会



6月定例会は、6月2日から6月24日まで開催された。

専決処分等の報告1件、予算の繰越明許費繰越計算書の報告及び予算の繰越計算書の報告がされ、令和3年度一般会計補正予算(第2号)など17議案が審議され、いずれも全員賛成により可決された。
主な質疑の内容は以下のとおり。

議案第76号

令和3年度香南市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ7997万9千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ24億6883万8千円とするもの

問 電気料増加の要因は

児童福祉総務費の需用費のうち、電気料が137万9千円増額されている。令和元年度の決算は230万円余りだが、本年度当初予算は302万7千円計上されている。コロナの関係で、空調の電気料が増えたかと思っていたが、

さらに100万円以上増額されている。要因は。

答 若杉児童クラブ分

前川 ひとみ 課長

本年4月、赤岡小学校区の若杉児童クラブが赤岡保健センター内に開設された。そこで、同センター維持管理費のうち、児童クラブ推進事業の補助対象経費分として電気料、水道料及び施設警備費について、こども課の予算に変更して計上した。



赤岡保健センター

問 備品購入の内容等は

教育総務費の事務局費の中で、一般備品購入費が22万3千円増額されている。当初予算と

して137万5千6百円計上しているところ、さらに追加で200万円余り増額されている。何を調達するのか。また、その理由は。

答 端末の追加購入費等

三木 学校教育課長

1人1台端末として、クロームブックの追加購入分203万5千円と、森田村塾のクロームブックの充電保管庫の購入費として8万8千円を増額補正した。

クロームブックの追加購入については、今年度の児童生徒数が増加したことにより、各学校教職員に配布する端末及び不具合が発生したときに交換対応するための予備の端末を備えるようにしていたが、これが不足したことによるもの。

森田村塾への充電保管庫の購入は、昨年度中に市内各学校へのGIGAスクール対応ネットワークの整備工事及び充電保管庫の設置は完了しているが、森田村塾への整備は着手できていなかった。

森田村塾には、通塾してきたときに児童生徒が共有で使用するクロームブックを10台配備す

る予定。学校と同様に、クロームブックを適切に保管するための充電保管庫を整備することとした。



森田村塾

問 どのような事業か

国保の保健事業と、介護保険の地域支援事業を一体的に推進することだが、どのような事業をするのか。また、今年度だけの事業か、翌年度以降も継続する事業か。

答 課題分析等を行う

恒光 市民保険課長

健康寿命の延伸を目指し、高齢者の介護予防や健康づくりを推進していく事業。後期高齢者



いきいきクラブ

医療広域連合からの委託を受けて事業を実施するが、後期高齢者だけを対象としたものではない。後期高齢者保健事業と市で実施している国保の保健事業を継続して取り組むことや、介護予防を目的とした地域支援事業等との一体的な取り組みができれば、専任の保健師が企画調整する。

また、既存の事業を2つ選択し、評価につなげることが義務づけられている。

1つ目として、今年度は健康状態が不明な高齢者の状況把握と健康課題がある人を抽出する。

2つ目は、いきいきクラブや自主運動グループ、お達者教室等の通いの場の利用者に対して、質問票による調査を行い、

問 建物敷地はかさ上げする

猪原 生涯学習課長

建物については浸水しないように敷地をかさ上げする。県道は一部浸水する可能性がある。そこで、県道から徐々に建物の方にかさ上げをする計画。県道に近い部分は浸水する可能性があるが、それ以外について浸水しないように工事を予定している。なお、北側の侵入路については、浸水しない想定になっている。

問 洪水浸水対策は

野市東防災コミュニティセンターと香宗分団屯所整備事業に関しては、整備予定地が浸水するので用地をかさ上げするということが、県道山川野市線や農道等の整備用地周辺の道路についてはどのように考えているか。



整備予定地

オンライン申請なら

いろんな便利がいっぱい。

各種手続がインターネットで、いつでも、どこでも、安心・便利に行えます。

オンライン申請とは

従来書面によって行っていた申請・届出等をインターネットを利用して行うことです。オンライン申請により、行政機関の窓口に向くことなく、自宅やオフィスからインターネットでの申請・届出や証明書の取得が可能になります。

オンライン申請のメリット

夜間、休日など
24時間いつでも手続OK!
(手続によっては、利用可能時間が異なる場合がございます。)



いつでも

どこでも

自宅やオフィス、
遠隔地からでもOK!

メリット

時間と
コストの節約



記入ミスや
漏れの防止

入力チェック機能、オンラインヘルプ機能があるので記入漏れや記入誤り等のミスが防げます。また、前年度記載したものを翌年もそのまま使えるので、書き写しが不要になります。

申請・届出等の用紙の入手が不要で移動時間や待ち時間がなく、申請内容によっては複数の手続をまとめて申請できます。また、手数料が安くなる手続もあるので事務処理時間、コストも削減!

総務省作成の「オンライン申請ガイドブック」から

問 スケジュールは

行政手続きの押印の見直しを委託する事業について、今後の進行スケジュールは。

また、オンライン申請や決裁の推進業務とのリンク状況は。

作業を行う。また、例規等を洗い出し、各課へ説明し、内容を確認する作業を行う。

現在、例規システムに登録している条例等が1215件程度あるが、約3分の1が何らかの見直しや確認作業が必要と予測している。遅くとも3月末までに取りまとめを行い、条例改正等を来年の3月議会か6月議会に提案するというスケジュールを考えている。

また、オンライン申請の推進

答 3月末までに取りまとめる

北村 総務課長

書面申請、対面申請に関する規制や押印の見直し基準の作成

業務とのリンク状況は、県の電子申請システムを共同利用する方向で動いているが、本年10月から県のシステムを利用することを予定している。限定的になるかもしれないが、可能な手続きからオンラインの申請を順次開始していきたい。

総務常任委員会審査

以下1議案が付託され、審査した結果、質疑なく原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第71号

香南市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について

教育民生常任委員会審査

以下4議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も質疑なく原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第72号

香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第73号

香南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第75号

香南市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

議案第77号

令和3年度香南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

産業建設常任委員会審査

3議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。主な質疑内容は、以下のとおり。

議案第74号

香南市火入れに関する条例の一部を改正する条例

問 当該職員を火入れ地に立ち入らせ、実地調査をさせることがあると規定されているが、当該職員とは誰を指すのか。

小松 農林水産課長

答 当該職員と改めた理由は、職員を特定するためであり、火入れに係る許可などを担当する職員である。

議案第78号

令和3年度香南市公共下水道事業会計補正予算(第1号)

問 下水道事業費の施設管理料が減額になっているその理由は。

北川 上下水道課長

答 施設管理委託料については、下水道施設管理積算要領に基づいて積算しているところ、見積金額が積算金額より低い金額で提出されており、結果として減額となった。

議案第79号

令和3年度香南市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)

問 第4条で、不足する額については消費税等から順次補填する規定があるが、当初予算の第4条を補正する必要があるか。

北川 上下水道課長

答 資本的収入の不足については、当年度の消費税及び地方消費税、資本的収支調整額及び当年度損益勘定留保資金で補填するため、第4条を補正する必要はない。

問 北部クリーンセンターの流量計修繕で、経年劣化による修繕費の増額となっているが、修繕ではなく更新はないか。

北川 上下水道課長

答 流量計については、計測機器の一部であるため修繕で計上している。



夜須北部クリーンセンター

問 処理場の修繕費で、耐用年数を勘案して取り替えの判断をしていると思うが、ストックマネジメント的な考えはあるか。

北川 上下水道課長

答 スtockマネジメント計画については、今後考えている。北部クリーンセンターは統合があるので、形態が変わってから計画を進めていく。

市政全般についての

一般質問

6月定例会においては、10人の議員が一般質問を行いました。

それぞれの議員の質問事項は、以下のとおりです。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
① 西内 治水 (6ページ)	1. 子どもの隠れ近視 2. マリンスポーツ施設 及び借地の維持管理 3. 防災対策 4. 庁舎整備	⑤ 樽本富佐子 (10ページ)	1. 教育条件整備 2. 新型コロナウイルス 感染症対策 3. ジェンダー平等社会 の実現 4. ヤングケアラー 5. 庁舎の整備
② 馴田 文雄 (7ページ)	1. コロナ禍でのテレワーク の推進 2. コロナ禍での学生支援等 3. 野良猫対策等 4. 事業者支援	⑥ 林 道夫 (11ページ)	1. 災害対策基本法の改正 2. 香南市ウエルカム移住・ 定住促進事業 3. 宅地造成事業
③ 濱口 涼子 (8ページ)	1. 夜須町の福祉センターの 今後の利用方法 2. 本市の環境問題 3. 地域の野良猫の対策 として広報誌での周知 4. 子育て支援センター 「にこなん」での 母親への支援 5. 香南市中小企業者応援 補助金	⑦ 片山 透 (12ページ)	1. G I G Aスクール構想に おける1人1台端末の 活用 2. 宅地造成事業 3. 公用車による交通事故 の防止
④ 宮崎 晃行 (9ページ)	1. 防災施策 2. 未来人材育成奨学金 返還助成金 3. 防災重点農業用ため池の 管理 4. 農業集落排水施設の 管理等	⑧ 小泉 潤 (13ページ)	1. 香南市ウエルカム移住・ 定住促進事業 2. 佐古小学校急傾斜地 崩壊対策事業
		⑨ 土居 りえ (14ページ)	1. 通学路安全対策 2. 生活困窮者支援 3. 新型コロナワクチン接種
		⑩ 上田 瀧雄 (15ページ)	1. マイクロプラスチック 問題 2. みなとオアシス手結 3. 漁業者の支援 4. 手結港防潮堤外の消波 ブロック

子どもの隠れ近視



西内 治水議員

問 現状把握は

隠れ近視は、特殊な測定をしないと分からないが、子どもの近視の現状は把握しているか。

答 把握できていない

三木 学校教育課長

視力検査は行っているが、通常の視力検査であり、精密な機器を使った検査は行っていないため、学校として隠れ近視を把握できる状態となっていない。

視力検査は、子どもが黒板を見るのに不都合がないかが一つの基準。眼鏡をかけている子どもも、かけていない子どもも、一律視力検査で0.9以下の子どもには、病院での受診を勧めている。

眼鏡をかけていて1.0以上見えているとすれば、眼鏡をかけている理由が、遠視・近視・

乱視なのか把握できていない。(参考) 野市中学校生徒47人中26人が0.9以下で、病院での再検査を伝えた。

問 近業への対策は

スマートフォン、ゲーム、タブレット導入で近業が増加しているが、対策は。

答 PTAより夜のスマホ使用禁止を提案

三木 学校教育課長

調査では、4時間以上と回答した割合は、小学校5年生で17.8%、中学校2年生で27.2%。学校における一人1台端末、デジタル教材・教科書の活用など、ICTの使用機器が広がることを踏まえ、文部科学省から出されている児童生徒の健康に関する事項に配慮しながら活用を進めていく。

また、PTAが作成した香美・香南ネット宣言において、小学生は夜9時、中学生は夜10時以降の携帯・スマホの使用禁止を提案している。

問 眼を守る対策の推奨は

20分見たら20フィート(約6m)を20秒見るという「20-

20・20ルール」や、屋外で2時間(1千ルクス以上で2時間以上)の検討は。

答 啓発をしていく

三木 学校教育課長

数値的な指示が文部科学省から出ており、授業の中で教員が利用の仕方を注視しながら行えるように、また、家庭の中で使用の方についても、学校として啓発をしていく。

マリンスポーツ施設および借地の維持管理

問 共有地の契約事項に違反行為はないか

答 違反はない

猪原 生涯学習課長

当該契約に従った利用で違反はない。

問 転貸しではないか

飲食店と借地契約をして、駐車場として利用している。契約書3条で借地物件はヨット施設関連以外で使用しないとなっている。違反ではないか。

答 違反利用ではない

猪原 生涯学習課長

駐車場の利用は、条例に基づき行っており、契約書の条項に違反する利用ではない。

答 共有地部分を確認する

清藤 市長

土地賃貸契約書の条項に違反する利用ではないと考えているが、指摘の共有地については、いま一度確認する。

問 境界の明確化は

地籍調査は終わっている。甲乙立会して、鋸もしくは杭で共有地と市有地の境界を明確にしてはどうか。

答 データの提供は可能

野島 建設課長

平成20年に現地調査を行い、境界確定した時には、ピンや杭打ちはしている。何らかの理由でなくなっている場合、復元は原因者が行うこととなる。データの提供はできるので、それを活用し、原因者に復元してもらいたい。

防災対策

問 進捗状況は

防災マップ作成の進捗状況は。また、発刊はいつか。

答 全戸配布予定

岡林 防災対策課長

本年度は洪水土砂災害ハザードマップの画像データの作成と全ての印刷を実施する。委託契約は締結しており、完成に向けて取り組みを進めている。今後の予定は、津波ハザードマップから順次ホームページで公開を行い、10月頃に全戸配布を行う。

問 ごめん・なはり線南部の対策は

線路の橋脚、桁、側壁が落下した場合、住民は避難できない。懸念するが、考えは。

答 県や国に要望

清藤 市長

ごめん・なはり線の構造物には、以前から心配があった。市長就任以前から県や国に要望している。国の有利な事業も使いながら、一番重点的に補強工事をしてもらっている。

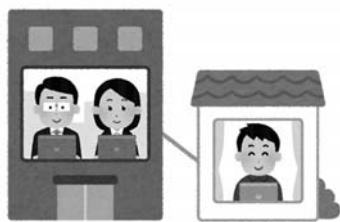
テレワークの推進



馴田 文雄議員

問 自治体でも取り組みを

総務省は、新型コロナウイルス感染症対策として、テレワークの導入が有効だとして自治体にも推進を求めている。本市での取り組みは。



答 現時点では取り組まず

北村 総務課長
市役所業務においては、窓口

対応や相談、現場での業務が多く、テレワーク用のパソコン調達や庁外ネットワークへのアクセスなどの環境整備、職員の労務管理など、多くの課題もあり、現状では取り組めていない。一方で、新型コロナウイルス対策として、早出、遅出、週休日の振替勤務の活用などで出勤者の削減に取り組んでいる。

学生支援等

問 利用できる制度は

日本の高等教育での学費の高さは以前から指摘されてきており、親元からの仕送り額も減少傾向にあったといわれている中、新型コロナウイルスの影響で、学生はさらに生活が厳しくなっている。本市では学生が利用できる支援制度にどのようなものがあるか。

答 貸し付け制度など

西内 福祉事務所長
学生だけに限定したものではありませんが、緊急小口資金や総合支援資金の貸し付けがある。学生であっても、例えば、単身の学生であれば「世帯の主たる生計者」となるため、対象となる。また、家賃の一部を補助する住居確保給付金もある。いずれの制度も「生活サポートセンターこうなん」が相談窓口なので相談してもらいたい。

問 自治体独自の支援制度を

県内では、学生への食料支援に取り組んでいる団体がある。自治体でも、例えば、いの町が同町出身の学生へ10万円を支給、三原村は同村出身学生に村の特産品の詰め合わせを贈呈、南国市では地域の学生に大学を通じて防災備蓄品のレトルトカレーなどを提供するなど、出身学生や地域在住学生への支援を始めたところも出てきている。本市でも検討を。

答 社協に相談を

西内 福祉事務所長
本市では、市民からの提供品で賄われている社協のフードバンク事業がある。コロナの影響で生活が苦しい学生は「生活サポートセンターこうなん」まで相談に来てもらいたい。県外に転出している学生は、その地域の社会福祉協議会が貸し付け制度など同様の支援を行っているので、相談してもらいたい。

問 奨学金返還支援制度の対象拡大を

「香南市未来人材育成奨学金返還助成金」は、令和2年の4月1日以降に就職した人が対象という要件があり、それ以前に就職した人は利用ができないことになっているが、利用状況も活発ではないことを考えれば、それ以前に就職した人も利用できるようにすべきではないか。

答 制度の見直しも検討

浜田 商工観光課長
当該助成金の在り方については、今後、様々な奨学金返済支援制度を研究し、有効なものになるよう見直しを検討するが、事業所等の人材確保の上で有効な施策とならない場合には、制度自体の変更が必要と考えている。

猫不妊手術支援

問 補助金使いやすく

メス猫不妊手術推進補助金は、対象が県の補助金制度の利用者に限られているため、県の予算がなくなった場合は、市に予算が残っていた場合でも使うことができない。市の補助金のみでも使えるようにはできないか。

答 要綱見直しも検討

岡崎 環境対策課長
県の制度はキャンセル待ち状態も発生しており、不妊手術の実施を先延ばししないと、県・市両方の補助を受けられない場合も考えられる。今後は市補助事業の活用状況や県補助事業への申請数の状況などを確認しながら、要綱の見直しについて検討していく。

産後のお母さんケア



濱口 涼子議員

問 になんでの取り組み状況

年間利用者が延べ1万人を超える人気の子育て支援センターだが、土曜日・日曜日の開設は。

答 今後はニーズに合わせて検討する

前川 ことも課長

利用者のニーズを把握し、子育て中の親子が気軽に集い、相互の交流や子育ての不安、悩みなど相談しやすい開設日を検討する。また土曜日、日曜日の開設について県内の子育て支援センターの開設状況や利用状況などを調査し、開設日時や休館日の設定など検討している。現在の利用者は、平日に自宅を離れて同じ子育てをしている人たちが過ごしたり、不安や悩みの相

談を聞いてもらいたいという希望が多い状況である。土曜日、日曜日は家族で子育てをしている人が多いので、現時点では、家族にも参加してもらいたい育児学級や講演会等について土曜日、日曜日に開催できるように検討している。



問 産後の母親へのケアは

産後、新生児の検診は丁寧にやっている現状があるが、産後間もない母親への産後ケアは積極的にできているか。

答 出産から育児まで切れ目ない支援をする

前川 ことも課長

母親への主な支援は、健康対策など関係機関と連携し、保健師による育児相談や栄養士による離乳食講習会及び栄養相談などを開催し、育児についての助言や支援を行い、育児のために役立つ講座などを開催してい

る。育児学級では、母親の体のサポートとして骨盤ケア教室などを行ったり、夜中の授乳など寝不足で家事や育児で疲れて体調がよくないうちや出産前後の心や体が不安定な状態のときには、子どもを保育士が預かり、母親にゆとり過ごしてもらえらる静養室などを設けていく。引き続き出産から育児まで切れ目ない支援を行う。



問 猫飼いがいない猫への対策

答 飼いがいない猫を増やさない対策は

避妊去勢手術の補助金や、正しい猫の飼い方等、広報での周知はできないか。

答 広報誌に特集記事を掲載

岡崎 環境対策課長

野良猫の数を増やさないための啓発活動や、繁殖による増加を抑制するための不妊手術費用

への補助を行い、野良猫の増加抑制に努めているが、大きな成果には至っていない。また、広報誌への掲載は、野良猫の保護活動に関する記事の掲載を予定している。今後は、現在の取り組みを継続しながら、保護活動を行っている人たちから話も聞き、広報誌などへの掲載も含めて、支援について考えていく。



譲渡会にて

問 夜須町福祉センターの活用方法は

社会福祉協議会が香我美支所に移転して以降、

利用者が夜須支所の2階へ移転したりと状況が変わっているが、利用者の声を聞いているか。また福祉センターの活用状況は。常駐職員はいるか。

答 常駐職員はいない

西内 福祉事務所長

社会福祉協議会が通所介護事業を行うため、1階の事務室に常駐していたが、4月からは香我美町に事業実施施設を移したので現在は常駐する職員は不在。そのため、昨年度までは延べ700回程度の利用があったが、今年度は300回程度と予想される。また今後は各団体の意見を聞くための福祉センター運営委員会を開催し、地域の意見を聞く。

問 今後、福祉センターの活用方法として、高齢者の談話の場所等、利活用してはどうか。

答 地域の意見を聞きすすめる

西内 福祉事務所長

夜須防災コミュニティセンター稼働後も見据えながら、地域の人もともに検証を進めていきたい。

ため池の管理



宮崎 晃行議員

問 評価対象の ため池は

昨年10月、防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法が施行された。

この法律に定める劣化状況評価の対象となっているため池は、

答 9カ所が対象

野島 建設課長

市内の防災重点ため池9カ所全てが評価の対象。

野市町の奥池、松葉谷池、小山池の3カ所を令和3年度に評価を実施する予定。その他の6カ所は、令和4年度以降に評価を実施予定。

問 奥池の工事は

県の計画によると、特措法の有効期間の前半の5年間に防災

工事を行う防災重点農業用ため池が21カ所ある。この中に市内のため池は入っていない。ただし、耐震性に課題のある奥池は、できるだけ早期に工事をする必要がありと考える。県の計画に追加して、防災工事を早期に行うことが地域住民の安心につながると思いますが、見解は。

答 採択を 目指している

野島 建設課長

奥池は、令和元年度に県が実施した調査において、耐震性を有していないと判断されている。これを受けて豪雨耐性調査を令和2年度、劣化調査を今年度行う予定。今年の3月の県の計画では、来年度の国の事業採択を目指して進めていくと聞いている。



奥池

防災施策

問 企業の参加状況は

市内企業の防災訓練への参加状況は。

答 参加はほぼない

岡林 防災対策課長

主会場での訓練には、香南市建設産業関連連協会所属の企業に参加していただいている。一方、市内一斉での訓練には企業の参加実績はほぼない。

問 参加促進は可能か

企業に対して参加を促すことは可能か。

答 参加をお願いする

岡林 防災対策課長

香南市総合防災訓練は、毎年、11月5日の世界津波の日に最も近い日曜日に開催しているため、企業での参加は難しい。ただし、企業防災は地域の防災力向上には欠かすことのできない取り組みである。本年度に作成する防災マップを市内の各企業に配布する予定なので、訪問の際に、総合防災訓練への参加もお願いする。参加が難しい

ということであれば、平日の独自訓練の実施に向けての働きかけなどを行い、少しずつ日曜日での参加につなげていきたい。

問 作成加速化は 可能か

本年5月20日、災害対策基本法が改正された。その中で、高齢者や障害者など自力で避難することが難しい人の避難方法をあらかじめ定めておく個別避難計画作成の努力義務が法律に位置づけられた。作成の加速化は可能か。

答 加速化は可能

西内 福祉事務所長

令和2年度には、赤岡地区をモデル地区として取り組みを進め、同地区は作成を完了している。

同地区の取り組みにおいて分かったことだが、生活支援機関や地域の民生委員、児童委員、自主防災組織・自治会等の協力で、今後の加速化は可能と考え

る。津波浸水区域については、令和5年度中に個別避難計画の作成完了を目指して取り組む。

農業集落

排水施設

問 管理状況は

野市町上岡の河川敷の施設は、設置した池や、そこに成育した水生植物で処理水を浄化する画期的な施設。ただし、草が生い茂ると、環境面だけでなく、処理水の流れも悪くなるので心配する。草刈り等の日常的な管理状況は。

答 十分な管理を行う

北川 上下水道課長

昨年度は業者の調整がうまくいかず、草刈りが1回しかできなかった。今年は4月中旬から5月中旬に東側部分の草刈りを行った。6月には西側部分の草刈りを行う予定。今後は、年に2回草刈り等を行い、十分に管理を行っていきたい。



上岡の河川敷施設

教育条件整備



樽本富佐子議員

問 放課後児童クラブの安全対策は

3月議会で、安全対策を徹底していくという答弁だったが、学校敷地外にある児童クラブの交通安全対策のその後の進展は。

答 引き続き対策を徹底していく

前川 ことぶ 課長

県道の横断歩道、信号のない交差点、減速のダイヤマークなどの路面標示の塗り替えを、南国警察署へ1月末に要望している。実施までにはもう少し時間がかかる。

問 市バスの乗務員の複数配置は

交通事故を未然に防ぐためには、運転手が運転業務に集中できる環境が大切である。児童生

徒が利用するスクールバスや研修バスには、運転手以外の乗務員が必要と考えるが、複数配置の計画はあるか。

答 複数は配置していない

三木 学校教育課長

乗務員の複数配置はしていないが、委託先のバス会社では、運転手の体調確認やバス車両の点検を十分行い、安全運転に努めている。

校外活動の場合は、教員が同乗している。教員は児童生徒の安全確保を第一としながら、可能であればバスの後方確認なども行う。



スクールバス

新型コロナウイルス感染症対策

問 住宅リフォーム助成制度の拡充計画は

玄関に入る前に手洗いができるように、屋外への手洗い場設置の声は多くなっている。

感染防止の観点で本制度を位置づけ、屋外も助成の対象とする自治体もあるが、本市ではどうか。

答 検討していきたい

野島 建設課長

現在は、住居部分に限った工事が補助対象であり、倉庫等の改修や外構工事等は対象外である。今後は補助対象外工事でも、要望の多い工事や必要と思われる内容は検討していきたい。

問 ワクチン接種の現状と改善策は

高齢者のワクチン接種では、予約電話がなかなかつかないが、市民の不安も大きかったが、現時点での接種状況は。

また、今後、どのような点に留意して進めていくのか。

答 接種計画に基づき実施している

伊藤 健康対策課長

4月25日に第1回の集団接種を行い、6月6日までに12回実施している。現在のところ、救急搬送や医療措置が必要になったケースはない。5月11日からは、市内の入院患者や高齢者施設の入所者及び従事者に順次実施している。個別接種の具体的な進め方は、医師会と協議して行っていく。

65歳未満では、電話とウエア予約の併用を予定している。接種券の発送は年代別に行う。

社会 ジェンダー平等

問 本年度の重点施策は

日本のジェンダーギャップ指数は121位から120位とほんの僅か前進したが、課題は多い。本市の最も重要とする施策は何か。

答 多様な性を尊重しあうまちづくりを目指す

田中 人権課長

近年、性のあり方の多様性への注目が集まっているが、正しい知識と理解度は低く、制度や環境整備が不十分な現状がある。本市の人権課題の一つに性的志向・性自認があり、多様な

性を尊重しあうまちづくり事業を推進し、令和4年度中のパートナーシップ制度の制定を目指す。

ヤングケアラー

問 実態把握は

埼玉県が高校2年生を対象に行った実態調査では、約25人に一人がヤングケアラーであるという結果が出ている。国が公表した調査結果でも、中学2年生の5・7%が家族の世話をしていると答えている。

ケアを家庭内の問題とせず、社会で支える仕組みが必要であるが、本市の状況はどうか。

答 把握できている

西内 福祉事務所長

ヤングケアラーの明確な判断基準がないことから、世帯数などの実態はつかめていない。保育所や学校等が日々児童や家庭に関わる中で、様子に変化が見られ、ヤングケアラーが疑われるようなことがあれば、関係機関が連携して状況把握を行い、適切なサービスの利用等、家庭への支援に努めていく。

宅地造成事業



林 道夫議員

問 宅地開発地の選定理由は

今般、香南市都市計画マスタープランに基づく高台移転や移住・定住等の目的で香我美町下分の宅地開発の提案がされたが、夜須候補地との比較や選定理由は。

答 総合的に決定

野島 建設課長

今回は航空写真や現地踏査等で下分地区と夜須町中部地区を比較検討した。

ともに南海トラフ地震津波の影響のない立地だが、夜須候補地は、主要ルートが津波浸水区域に位置し、孤立する可能性があることと、主要な文教・市施設へのアクセスに関し、香我美町候補地が優れているため、総合的に決定した。

問 夜須宅地開発への市長の思いは

学校の規模適正化検討でも住宅等の建設計画がなければ夜須地区の人口推計はマイナスカウントになっている。また、市長は最初の立候補時に立体換地やツイン区画整理等海岸地域の住民に一定の期待を与えてきた。市長としての今後の夜須地区宅地開発への考えは。

答 連続性を持って取り組む

清藤 市長

ツイン区画整理事業や立体換地は、今も市の構想にはあるが、国の事前防災に関する支援策がなく、その中で自己負担をどうしていくか検討中だ。

市の人口には地域格差もあり、津波浸水予想区域外への住環境整備の方針のもと、まずは香我美町ということではあるが、今後は夜須町の整備に向けた検討をしていく。

香南市ウエルカム移住・定住促進事業

問 お試し滞在住宅の成果・課題は

移住定住促進空き家活用住宅事業は、香我美町の西川、東川、夜須北部地域をモデル地区として、空き家をお試し滞在住宅等として活用し、移住促進へとつなげる事業だが、利用状況と課題は。

また、モデル地域に移住する場合の支援制度はあるか。

答 便利な場所へも検討

岩田 地域支援課長

平成28年度から西川地区の空き家1軒をお試し滞在住宅として管理・運営しており、令和2年度末までの利用12組のうち2



お試し滞在住宅「西川」

組が本市に移住した。

実際に本市の暮らしを体験できると移住検討者に好評だが、課題は移住への本気度を申し込み段階で見極めることや、自動車を持たない人でも利用しやすい場所に新たなお試し滞在住宅を検討することなどだ。

モデル地域への移住に対し、重点的な支援制度はないが、今後検討していきたい。

災害対策基本法改正

問 避難率をどう上げる

災害対策基本法の改正により新たな避難情報の運用が開始されたが、避難率の低さが課題である。今後、避難情報を実際の確な避難行動に結びつけるための取り組みは。

答 ワークショップで議論

岡林 防災対策課長

避難準備・高齢者等避難開始情報の発令による平成30年7月豪雨や令和2年10月台風の避難率はともに1%未満となっている。

課題解決のためには、地道に防災学習の出前講座等をやっ

いくことが大切であり、本年度は防災・減災ワークショップの中で、改めて避難行動の重要性等も議論してもらいたい。

問 優先度の見直しを

市町村の避難行動要支援者個別避難計画の作成が努力義務となり、津波や土砂崩れ等のハザード部分、身体の状態や支援の必要度、社会的孤立状況等の優先度を判断し、概ね5年以内に策定完了することとされている。

答 希望があれば柔軟に

西内 福祉事務所長

県では令和6年度までにレパル2の津波浸水区域の個別計画完了を目標としているが、本市では5年度中の計画作成完了に取り組んでいる。土砂災害区域の計画策定も必要と考えており、浸水区域以外の地域で希望があれば、柔軟に同時進行で対応していく。

宅地造成事業



片山 透議員

問 宅地造成事業の目的・意義は

この宅地造成事業については、本年4月23日に開催された全員協議会において、担当課から説明があったが、その目的・意義を改めて問う。

答 定住人口拡大・社会増に資すること

西内 企画財政課長

本事業の目的は、転入の促進と転出の抑制による定住人口の拡大である。

宅地を造成することにより、津波浸水想定区域からの高台移転や、賃貸から持ち家への住み替え時などの受け皿を創出し、転出の抑制を図るとともに、移住・定住者の受け皿としても活用することによって転入の促進を図

り、定住人口の拡大を目指す。

本市においては、2060年に人口約3万人を維持することを目指して、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略などに定めた施策・事業に取り組んでいるが、現在の人口減少社会において、その目標の達成は決して容易なものではない。

本事業は、社会増減を増にする、あるいは減となっても、できる限り小さな減少幅にとどめるために明らかに資するものと考えており、そこそが本事業を実施する意義であると考え

問 香我美町下分地区に選定した理由は

本事業については、香我美町下分地区に整備するということが、その選定理由は。

答 災害からの安全確保と利便性を総合的に検討

野島 建設課長

今回選定した土地は、南側と西側が県道に接道し、保育園や小学校に約600m、市役所支所に約300m、商業施設に約100mと主



選定された香我美町下分地区（Aコープかがみ斜め向かい）

要な施設へのアクセスが優れており、自然災害からの安全確保など、総合的に検討した結果、香我美町下分地区に決定した。

問 本事業の目的・意義の達成指標の有無は

本事業の目的・意義を達成したと認識する指標はあるのか。

答 現時点では指標化されていない

西内 企画財政課長

最も大きな指標としては、香南市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンに掲げる2060年に約3万人の人口を維持することである。本事業に係る直接的な成果指標としては、全区画が完売するだけではなく、家が建ち、そこに人が定住することで

あると考えるが、現時点では指標化されておらず、宅地造成事業に係るKPIは、総合戦略及び産業振興計画に定める「令和6年度までに1カ所の宅地造成地を整備する」ことである。

今後、本事業の進捗状況に合わせて、総合戦略や産業振興計画の策定委員会などにも諮り、適時適切な指標を定めるよう取り組んでいきたい。

答 活性化である

清藤 市長

指標としてひとくくりに言うとは、その地域、あるいは個別の地域全体の活性化ということになる。

今回、住環境整備をすることによって、その局地的な地域もそうであるが、その周り、また、香南市全体のバランスを考えた

ときのまちづくり、これがどういった形でできるかが指標というか成果だと考えている。

問 状況の変化に応じた本事業の見直しは

この宅地造成事業は、必ずしも住民生活に必要不可欠なサービスではなく、社会経済情勢の変化によって事業リスクが相対的に高いとされ、採算性の悪化などが生じると、市民に負担を強いるおそれがある。

よって、事業に着手した後も、その変化等に応じて適時適切に計画を見直す必要がある。

仮の話であるが、予想以上に事業費用を要することが生じ、近隣の宅地の市場価格などと比べて高い販売価格が予想された場合、採算性やリスクを考慮しての見直しを行うか。

答 柔軟に対応

清藤 市長

仮定の話であるので、具体的にではないが、私の行政手法のモットーの1つが柔軟に対応であるので、柔軟に対応していければと思っている。

移住・定住 促進事業



小泉 潤議員

問 直近、3年間の県外移住者の推移は

コロナ禍で移住者も少ないと聞いている。現在の移住者の人数は。

答 コロナ禍でも年々増加傾向

岩田 地域支援課長

相談窓口を通じた県外移住者と転入者アンケートから推測される人数は、平成30年度が相談窓口から50人、アンケートから99人で合計149人、令和元年度が、39人と135人で合計174人、令和2年度が50人と128人で合計178人となっている。

問 移住者への県・市の窓口機能は

県外から移住する場合、きつ

かけは様々で、対応する窓口機能について聞く。

答 相談機能を一本化し、県や他市町村と連携

岩田 地域支援課長

県の移住相談窓口として、高知県移住促進・人材確保センターがあり、移住コンシェルジュをスタッフとして配置している。

市の窓口としては、地域支援課内に移住相談員を置いて、相談機能を一本化し、Uターンや空き家の活用、仕事の相談など、移住希望者のニーズを把握し、就農や子育てなど必要な情報提供の対応を関係各課と一緒になって行っている。また、必要に応じて、県や他市町村とも連携して対応している。

問 移住者の受け入れ態勢は

初期対応によって、移住するかどうかが決まる場合もある。どのように各課と連携しているのか。

答 移住希望者カルテを作成し、細やかに対応

岩田 地域支援課長

移住専門相談員のうち、一人は移住者である地域おこし協力隊員を配置、身近な相談者として対応している。また、移住希望者カルテを作成し、相談内容やニーズを的確に把握し関係各課と連携して行っている。例えば、就農は農林水産課、市内企業の雇用に関しては商工観光課などスムーズに移住・定住につながるよう取り組んでいる。

佐古小学校急傾斜地崩壊対策事業

問 佐古小裏山の現状は

南海地震やゲリラ豪雨から、児童の安全を確保する早急な対応が必要と思われる。その対応は。

問 土砂災害特別警戒区域に指定

山下 教育次長

本年1月に土砂災害防止法による土砂災害特別警戒区域に指定された。児童及び教職員の安全確保と指定避難所の保全を図るため、対策事業の実施が急務と考え取り組みを進める。

問 対策のスケジュール予定は

答 8月末をめどに対象用地を測量予定

山下 教育次長

計画スケジュールは、8月末をめどに対策事業に係る対象用地の測量を行った

後、用地取得を行う予定。対策工事については、令和4年度から県が行う予定である。

問 県との連携は

答 緊密な連携で進める

山下 教育次長

急傾斜地崩壊対策事業については、対策工事を県単独事業で実施予定である。緊急性・必要性が高い事業である共通の認識の下、緊密な連携を取りながら緊急かつ確実に事業を実施していく。



香南市HPより香南住む〜す「働く」でクリック!



佐古小学校付近

通学路安全対策



土居 りえ議員

問 要望後の対応は

通学路安全対策連絡協議会で受けた要望はどのように対応しているのか。

答 協力機関と情報共有

三木 学校教育課長

各校より受けた要望は、学校教育課の事務局で取りまとめた後、学校教育課にて事前の現地確認を行う。土木事務所・警察署・建設課・防災対策課・地域支援課等の各協力機関への情報共有を行い、協力機関と共に台同の点検を実施している。各機関にて短期的または長期的な対策内容を整理し、各校への回答及びホームページでの公開を行っている。

問 防犯灯未設置場所の対応は

地域自治会の方で維持管理をしていかなくはないけないということ、自治会や町内会との交渉がスムーズにいかなくて未設置になっているというケースもあると聞かすが、このようなケースはどのように対応しているか。

答 柔軟に対応し理解を求める

岩田 地域支援課長

現地を確認した上で市が設置する場合もある。地域での設置が望ましい場合は地域の人と一緒に話をし、理解を得るようにしている。現在未設置となっているところの確認をし、その上で協議をしていく。

生活困窮者支援

問 女性の貧困・生理の貧困の実態調査は

「生活サポートセンターこうなん」に寄せられる相談件数が、令和2年度は元年度に比べ5倍の相談件数であったということ

である。コロナ禍で若い世代、40代、50代の相談が増えてきているとのことだが、女性の貧困、生理の貧困に対する実態調査についての考えは。

答 実態把握に努める

西内 福祉事務所長

注意深く女性の困り事の実態把握に努め、できる限りの支援をしていきたいと考えている。

問 学校での生理用品の配布は

学校現場においては、家庭環境や経済的な影響で、児童生徒に影響が出ないようにきめ細やかな対応が求められるが。

答 養護教諭部会で協議

三木 学校教育課長

支給と貸与について、双方のそれぞれの意図を明確にすること。父子家庭で購入について家で話題にしにくいなど、家庭内の事情により配慮が必要な児童生徒への個別の対応を想定すること。また、男性教員には相談しにくい話題であり、保健室が

問 防災備蓄品の活用は

備蓄している生理用品の購入時期と、入れ替え時期にどのような活用を考えているのか。

答 入れ替え時期の取り扱いを協議

岡林 防災対策課長

本市で備蓄している生理用品は、購入してから6年から16年が経過しているが、使用期限が明示されていないために、入れ替えの時期などの取り扱いについて、現在は明確に定めていない。今後は、生活に困窮されている人たちへの支援助資などを含めて、入れ替え時期の取り扱いについて、関係各課と協議していく。

新型コロナウイルス ワクチン接種

問 保育士や教職員への優先接種の考えは

保育士や教職員は常に集団の中で仕事をしている。特に、保育現場は密に過ごす時間が長いということ、小さな子どもたちはマスクをつけられないという状況がある。今後、キャンセル対応や基礎疾患のある人への接種の開始に併せて、早い段階で接種を進められないか。

答 検討課題として考える

伊藤 健康対策課長

現時点では、保育所職員や教員への優先接種は考えていないが、今後の県内の感染状況も注視しながら検討していく。



海洋プラスチック汚染問題



上田 龍雄議員

問 マイクロ化の有害性

人間が作ったプラスチックごみが今、生命の起源である海を汚している。中でも回収困難なマイクロプラスチックには、有害化学物質が吸着され、食物連鎖を経て人体に取り込まれる健康被害が指摘されている。この現状をどう認識しているか。

答 世界的に深刻な問題

岡崎 環境対策課長

大雨等により流出したプラスチックごみが、長い漂流による摩擦や紫外線の影響により、5ミリメートル以下の微細なプラスチックごみとなるもので、海洋生物の生態系のみならず、生物に取り込まれ溶け出した有害物質による人体への影響等が懸念される深刻な問題と認識している。

問 本市の取り組みは

プラスチックごみによる海洋汚染対策は。

答 できることから実施

岡崎 環境対策課長

家庭ごみの適正な分別を啓発・推進し、プラスチックごみを最大限リサイクルすることに努める。さらに、ごみの不法投棄をなくすための啓発活動の継続、マイバッグ運動のさらなる推進、海岸等の不法投棄監視パトロールなども引き続き取り組む。

みなとオアシス手続

問 取り組み状況は

手続港が国土交通省の「みなとオアシス」に登録されて以降の取り組みを問う。

答 ヤ・シイパークが中心

浜田 商工観光課長

みなとオアシス手続は、平成18年10月に登録。例年5月にヨットレースを開催、夏場は海水浴場、7月はマリンスフェスティバルYASU、秋にはカヤックマラソン、11月のヤ・

シイの秋まつりなど、年間を通じて観光振興、地域活性化の取組を実施。

提案事項

手続エリア全体が活性化するために、一つは、歴史的価値の高い日本最古の掘り込み式内港と、ここに架かる可動橋の宣伝・活用。二つは、手続薬師堂境内にある臥竜柏という樹齢800年を越す国内屈指の老木の整備・活用。三つは、塩谷海岸の磯を活用した生き物の観察など、子どもたちの自然学習の場づくり。



塩谷海岸

問 漁業者の支援

新型コロナウイルス禍における本市在籍漁船の水揚げが減少している実情を把握しているか。

答 把握している

小松 農林水産課長

市内の港ごとの取扱数量を元年度と2年度で比較すると、手続港では約90tの減、吉川漁港は、約11tの減、赤岡漁港では約15tの減となっている。

問 養殖漁業も苦境

手続エリアには、カンパチ、ブリ、チョウタロウガイなどの養殖漁業者もいるが、飲食店向けの出荷が減少して、非常に苦しい状況が続いている。支援を求めたい。

答 引き続き検討

小松 農林水産課長

市独自の支援として、昨年度は燃料費など一部補助を実施したが、今後も関係機関等と連携し支援策を検討したい。

問 消波ブロックの沈下

手続港防潮堤外と、その南方の夫婦岩付近消波ブロックが一部海に落下・欠損している。台風時や、巨大地震発生時の津波被害軽減等の意味において、県に補強設置を強く要請願う。

答 沈下・落下は確認

小松 農林水産課長

県・市とも一部ブロックの沈下と落下は把握しており、県では、今後も継続して経過観察をしていくとのこと。市でも今後の状況等について注視し、状況に応じて要望する。

問 市長の考えは

みなとオアシスと消波ブロックの補強設置について、市長の考えを伺う。

答 課題を施策に生かす

清藤 市長

みなとオアシスに関しては、見る人によって地域資源の感覚にずれがある。そのずれを合致させないと地域資源が生かせないので、それをこの機会に考えたい。また、港中心の賑わいとして海産物を基本に取り組んでいくことと、議員から紹介のあった可動橋、臥竜柏、塩谷海岸などを、しっかりと生かすことが今後考えられる施策とされている。

次に、消波ブロックの件は、沈下や落下に対する補強整備の基準を県に確認のうえ、併せて議会質問があった旨も県に伝えたい。

審議した議案

6月定例会の審議結果

- 専決処分報告 (1件)
- 予算の繰越明許費繰越計算書の報告について
- 予算の繰越計算書の報告について
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 香南市固定資産評価審査委員会委員の選任について (全員賛成11人同意)
- 香南市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について
- 香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 香南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 香南市火入れに関する条例の一部を改正する条例について

● 香南市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

● 令和3年度香南市一般会計補正予算(第2号)について

● 令和3年度香南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

● 令和3年度香南市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について

● 令和3年度香南市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について

● 香南市手数料条例の一部を改正する条例について

● 令和3年度香南市一般会計補正予算(第3号)について (全員賛成11可決)

お知らせ

9月定例会の開催予定

● 9月8日(水)
9時30分から開会
(注)前号(No.59)記載日程より変更になっております。

議第3号

香南市議会会議規則の一部を改正する規則

提出者

議会運営委員会委員長

眞辺 慶一

【提案理由】

女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図る観点から、住民が議員として活動するに当たっての制約要因の解消に資するため、本会議や委員会への欠席理由として育児・看護・介護等を明文化するとともに、出産について、産前・産後期間にも配慮した規定の整備を図るほか、行政手続きにおいて、原則として押印を廃止する政府の政策動向を踏まえ、市議会に係る署名・押印の見直しを行うよう、市議会会議規則の一部を改正するもの。

(全員賛成11可決)

各委員会の開催状況

【5月】

21日

議会運営委員会

(第96回香南市議会定例会の会期及び会議の予定・発議第3号 香南市議会会議規則の一部を改正する規則等)

26日

総務常任委員会

(令和2年度債権管理条例に基づく債権放棄及び南国・香南・香美租税債権管理機構の徴収実績、租税等の収納状況等)

27日

議会だより編集委員会

(市議会だより【No.59】の記事取材等)

28日

議会だより編集委員会

(市議会だより【No.59】の編集等)



【6月】



14日

総務常任委員会

(第96回定例会付託議案審査1件等)

15日

産業建設常任委員会

(第96回定例会付託議案審査3件等)

教育民生常任委員会

(第96回定例会付託議案審査4件等)

16日

議会だより編集委員会

(市議会だより【No.59】の編集等)

24日

議会運営委員会

(第96回香南市議会定例会の追加提案等)

市議会だよりについて

市議会だよりは、誌面の都合上、概要を掲載しています。よって、現時点では議案質疑に質問議員名等詳細について記載していません。

市議会だよりの内容について詳しく知りたい場合は、議会事務局において「香南市議会会議録」を閲覧できます。「会議録」には、質問を行った議員及び市当局の答弁のすべての状況が記録されています。

また、香南市議会のホームページに「議事録検索システム」機能がありますので、ご利用ください。

不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

TEL 57-8513

(※会議録は、会議終了後、約3カ月後までに、作成及び掲載しています。)



【議員表彰】

地方自治の発展と市政の振興に貢献した市議会議員の永年の功績を称え、全国市議会議長会と四国市議会議長会から次の議員が表彰されました。

【全国市議会議長会】

● 第97回

勤続20年以上

齊藤 朋子 議員

【四国市議会議長会】

● 第83回

勤続20年以上

齊藤 朋子 議員

勤続16年以上

西内 治水 議員

勤続16年以上

西内 治水 議員

勤続15年以上

山本 孝志 議員



市議会の傍聴・
議場の見学に
いらっしやいませんが

どなたでもご覧になれますので
お気軽に議会事務局
(57-8513)まで
お問い合わせください



特集記事

「こうなん市議会だより」において、特集記事を掲載し始めてから、本号で第6回となりまりました。

今回は、令和元年7月に開設されてから3年目を迎えた香南市総合子育て支援センター「にこなん」を訪問し、小松所長にお話を伺いました。

小松所長をはじめ、職員の皆様全員が、利用者に寄り添って接している姿勢と専門性をいかして職務に臨まれていることに、非常に感銘を受けましたので、ぜひ一読ください。

香南市総合子育て支援センター「にこなん」に

インタビュー！

設置された経緯・目的は

以前の未就園の乳幼児とその保護者に対する子育て支援事業は、合併前の旧町村単位であった各支援センターにおいて、それぞれ行っていました。本市の子育て支援拠点として「にこ

なん」が開設されました。

地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的としています。



育児学級は、どのような内容ですか

育児学級は、育児のために役立つ講座や親子で楽しく遊べる体験型のもので、「にこなん」スタッフや外部講師を招いて随時行っています。

生まれた赤ちゃんには多くの目が向けられるように、お母さんへの心と身体のケアも大切です。

「にこなん」では、身体を動かすリズム遊びや骨盤ケア教室、

ベビーマッサージなどを行い、同じ時期に子育てをしている皆さんの共感し合える仲間づくりにつながっていると思っています。

この時間は、お母さんがゆったりとした気持ちで子どもとスキンシップやふれあいをもち、お母さん自身もリフレッシュできるようにスタッフが配慮しています。

また、親子で製作をしたり、妊娠中からつながる支援が行えるようマタニティの方も参加したりできる育児学級にも取り組んでいます。

気候の良い時期には、親子で対面し、ゆっくりと安心して過ごせる時間を外遊びでも楽しめようように環境を整えています。

他にも、のいち子ども図書館クラブの皆様のご協力を得て、「絵本のひろば」を実施しています。

連携事業としては、どのような事業がありますか

市の保健師・栄養士と連携して、妊産婦支援・育児相談・離乳食教室などを行っています。

「にこなん」で行っていたパパ

ママ教室（お子さんが生まれる前の父母を対象、みるくらぶ（母乳に関する知識等の習得）はコロナ禍により、支援が途切れないよう健康対策課で行いました。にこにこセミナー（子どものいいところを探すなどの実践講座）は、現在実施できていませんが、時期を見ながら安心して行うことができるよう内容の工夫に取り組んでいます。

また、関係機関との連絡会を定期的に開催して、子どもの様子や来所できない方についての情報を共有し、それぞれのご家庭に応じた子育て支援について話し合っています。

「出張ひろば」は、どのような事業ですか

出張ひろばは、曜日ごとに、吉川みどり保育所、香我美おれんじ保育所、赤岡保育所及び夜須保育所で開催しており、どの「出張ひろば」を利用していたとしても結構です。

各保育所の施設や規模、園児の年齢構成等により、園庭の利用等での違いはありますが、各地域の保育所での良さをいかし、親子でゆっくりと過ごしなが

ら、少人数の中で利用者同士のつながりをもつことや、保育所の様子も知ることができます。

「にこなん」と「出張ひろば」の利用方法は

利用するに当たっては、まず登録をいただく必要があります。費用につきましては無料です。

初めて利用される際に登録すれば、名札を作成し、その日から利用することができます。

病後児保育事業は、どのように利用できますか

①市内に住所があり、保育所・幼稚園・認定こども園等へ在籍している生後6カ月から小学校6年生までの児童②病気の回復期で集団保育が困難だが、医師が病後児保育を利用することが可能であると判断した児童③保護者が勤務の都合等により、家庭での保育が困難な児童、これら3つの条件をすべて満たす児童が利用できます。

利用に当たっては、事前に登録が必要であり、また、利用する日の前日または当日に医師による診察を受けての「診療情報

提供書」が必要になります。

利用の予約は、前日までが原則ですが、受け入れに支障がない状況であれば、当日でも利用することができるともあります。しかし、診療情報提供書を取得する等の手続きに時間を要しますので、できるだけ事前予約をお願いしたいと思います。利用料金は、4時間以上で2千円、4時間未満で千円です。なお、食事と服用薬は利用者で準備していただきます。

受け入れる職員の体制や役割は、どのようなになっていますか

所長・看護師を含めて12名で運営しています。

職員室におきましては、電話連絡や相談等に対しても対応できる体制にしています。

「出張ひろば」や「乳幼児健診」のための出張者を除き、受け付けと広場は常時3〜4人の職員が担当し、初めての来所者への気配りや相談等に対しても気軽に対応できる体制にしています。

職員全員で子育てに関する専門性をいかし、目の前にいる親子の気持ちをしっかりと受け止

めることを大切にしています。

利用状況は

本市在住の利用者が最も多いですが、県内外の転勤者など本市以外在住の方の利用もあります。

午前中の利用者が多く、お父さんだけで利用される親子も増えてきています。

病後児保育は、令和元年7月から令和3年7月まで延べ15人の利用がありました。病後児保育の利用は、年々増加傾向にあります。

開設してよかったと感じたこと、やりがいを感じたことは

「にこなん」が安心して過ごすことができる居場所になっている、人と人とのつながりの場所になっていると感じています。

初めて来所した方は、期待と同時に初めての場、人に出会うことへの緊張や不安感を抱くこともあるかと思えます。職員は笑顔で親しみやすい雰囲気に対応することを心がけていますので、緊張感が和らぎ職員や他の利用者の方と気軽に会話をし、

笑顔で帰られる方を見ると、とてもうれしく思います。そして、継続的な来所につながり、職員に親近感を抱いていただいたり、利用者の方同士が親しくなる姿や子どもさんの成長を互いに喜び合う姿を見たりすることも私たち職員の喜びです。

子育てに関する情報提供を行うしつつ、利用される方の状況に応じた声掛けや、話しやすい雰囲気づくりを心掛け、親の不安を取り除き、子育てに前向きになれるお手伝いをして、本市における子育てを支えられるよう取り組んでいます。



インタビュー風景

新型コロナウイルス感染症による影響は

利用時間・同時利用人数の制

限、育児学級などの参加人数の制限を行っています。

また、ランチルームでの昼食など食事に関することも制限しています。

コロナの影響により、昨年やむを得ず休館し、利用者の方にご不便をおかけした期間がありました。そのときに、「にこなん」が開所しているだけで安心するとの言葉をいただき、必要とされていることを感じました。

スタッフ全員のチームプレーで、「にこなん」を必要とされる方への受け皿となるようにしたいと思っています。

今後の取り組みは

「にこなん」は、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、また、これから子育てを始める妊娠中の方など、子どもを取り巻く多くの方が自由に集うところであることを市民の皆様にも広く知っていただき、子育てを中心に人と人とのつながりや絆が生まれる場所となり、地域の人たちの支えを得て、親子が豊かに生活できるように取り組んでいきたいと思っています。

インタビュー後記

コロナ禍の中での取材ではありましたが、感染対策に十分配慮しながら取材にご協力いただきありがとうございました。

「にこなん」は開設から2年がたちました。今では、たくさんの方の利用者があると伺いいたしました。総合子育て支援センター「にこなん」のパンフレットには、このように書いてあります。『お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、また、これから子育てを始める妊娠中の方など、子どもを取り巻く多くの人々が自由に集うところです。子育てを中心に人と人とのつながりや絆が生まれる場所となり、ゆったりとした温かみや安心感を感じ取ってもらえる地域子育て支援拠点を目指します。』と。この取材を通して、香南市の子育ての支援拠点に少しずつなってきたのかと感じました。まだまだ、認知不足という課題もあると思います。より利用しやすい「にこなん」となるよう、議会としてもできることを今後も考えていきたいと思っています。

香南市総合子育て
支援センター
「にこなん」に
来たよ〜♪



「にこなん」で出会った市内にお住まいのかおりちゃん

表紙は誰?

「香南市で頑張っている人」

第2回は、香南市大谷の高橋成樹さん。

高橋さんは、見た目からはあまり想像できませんが、木を切ったり植えたりする山師というお仕事をされています。小さい頃からおじいちゃんの仕事に憧れ、山が大好きになり、小学校の頃は、「将来の夢は、山師になること」2016年高知県立林業大学校2期生として林業について学び、その後本格的に山師として働かれています。

昨年からは、切った木を使って作品を作るようになったそうです。なぜ創作活動をするのかを伺うと、「切った木は捨てられてしまう。切った木を再利用することは環境保全にもつながる。作品を通して山のことを知ってもらいたい、それが一番の目的です」と話す高橋さん。「今の仕事は、好きなことの延長で、実際すごく楽しい」とも話されています。香南市の若き山師、高橋さんの山を愛する気持ちと環境保全への熱い思いを強く感じました。

編集後記



開催に賛否両論のありました東京オリンピックでしたが、無事に閉幕しました。

参加されたアスリートの皆さんは、開催が不明な状況の中で様々な不安を抱えながらも、可能な限りの準備をされた上で競技に臨み、世界中に勇気と感動を与えてくださいました。多くのオリンピックが開催に尽力された関係者に謝意を述べるとともに、支えてくださった全ての方々に感謝を伝えられていたことに深く感銘を受けました。

にもかかわらず、SNS上で誹謗中傷がなされたことは、非常に残念でなりません。さて、我々市議会議員の活動が見えづらいというご批判があることは承知しております。この「こうなん市議会だより」に、本会議や各委員会における議論や、各議員の一般質問の内容などを掲載することにより、少しでも市議会議員の活動を知っていただけたら、幸いに存じます。

(片山 透)